

平成 29 年 3 月 28 日

米子市長 野坂康夫 様

米子商工会議所青年部
会 長 山 崎 潤

鳥取県西部地域公共交通網の形成に対する提言

鳥取県西部地域公共交通網の形成に対して、米子市にご検討いただきたく、下記の通り提言いたします。

提 言 内 容

1. 市町村間移動の充実と効率化

バス路線におけるルート・ダイヤの充実及び料金見直しを含めた社会実験の実施

2. 使いやすい公共交通環境の整備

バス料金決済における既存 I C カード（交通系、電子マネー）の導入検討及び社会実験の実施

3. わかりやすい情報提供による利用促進

Web 等における経路探索機能等の充実及びホスピタリティ向上

4. 公共交通利用の動機づけ

公共交通イベントの開催に伴うイベント連携

5. 持続可能な仕組みによる公共交通の維持・存続

鳥取県西部地域公共交通網の形成にむけた一体的な協議の場づくりにおける青年経済団体の参画

提言内容の詳細

はじめに

私たち米子商工会議所青年部は、『人が集うまちづくり』を基本理念にかかげ様々な活動を行っています。米子駅南北一体化後のまちづくりにあたって鉄道、バスといった公共交通がいかにあるべきかを考え、米子の街の公共交通の実態を調査・研究してきました。

その成果として、平成28年3月30日、米子市長 野坂康夫様に「米子市内のバス交通に対する提言」に関する文書を提出させていただきました。

その提言と同時期である平成28年3月に、鳥取県西部地域公共交通活性化協議会におきまして、「鳥取県西部地域公共交通網形成計画」が公表されました。同計画では、3つの基本方針に従い、5つの目標「1. 市町村間移動の充実と効率化」「2. 使いやすい公共交通環境の整備」「3. わかりやすい情報提供による利用促進」「4. 公共交通利用の動機づけ」「5. 持続可能な仕組みによる公共交通の維持・存続」を達成するための数値指標と事業が整理されております。

これらの目標と事業は、私たちの提言と重複する内容が多いことから、確実な計画の推進と事業の評価・検証を期待しています。

一方で、私たちは今年度も継続して米子の街の公共交通の実態調査及び研究を実施しているため、青年経済団体の視点での5つの目標達成に向けた提言をとりまとめました。

鳥取県西部地域の持続可能で調和のとれた移動環境の整備は、官民共通の地域課題と認識しておりますので、ご検討をよろしくお願いいたします。

1. 市町村間移動の充実と効率化

バス路線におけるルート・ダイヤの充実及び料金見直しを含めた社会実験の実施

バス路線の効率化とルート・ダイヤの充実は、鳥取県西部地域の公共交通網の形成に向けて、最も重要な課題であると考えています。特に、米子市内のだんだんバスは、現状では片方向の循環ルートとなっておりますが、私たちが実施したバス乗車による実態調査及び先進地事例視察調査の結果より、双方向の循環ルート設定が必要と考えています。

また、「鳥取県西部地域公共交通網形成計画」では、バス料金の見直しに関する事業は立案されていませんでしたが、今後のバス利用者増に向けて対象と

なる観光利用においては、バス料金のわかりやすさについても検討課題と考えています。

一方で、ルート・ダイヤや料金の変更は、既存のバス利用者やバス会社にとっても影響が大きいと考えられることから、鳥取県西部地域公共交通活性化協議会を事業主体とする社会実験の実施を提言させていただきます。

【例】

- ・料金を現在の10円単位ではなく、50円単位・100円単位とし利用者が支払いをしやすいようにする。(バス内での両替の機会を減らす)
- ・後部座席からも料金が把握できるようにする

2. 使いやすい公共交通環境の整備

バス料金決済における既存ICカード（交通系、電子マネー）の導入検討及び社会実験の実施

都市部の公共交通利用ではすでに欠かせない存在となっているICカードによる料金決済につきまして、JR西日本が発行する「ICOCA」の利用環境の整備が鳥取県西部地域でも進められています。

この整備を契機に、公共交通でのICカードによる決済ニーズが当該地域においても高まってくることが予想されます。

一方で、私たちの調査・研究では、交通系ICカードの導入はインシャルコスト及びランニングコストの負担が大きく、利便性は向上するものの、持続的な公共交通の維持に向けては負の面もあると考えています。

したがって、当該地域の公共交通における料金決済手段として、多様なICカード決済に関する社会実験の実施を提言させていただきます。

【例】

- ・電子マネー決済として小売店（スーパー、コンビニ等）ですでに普及しているICカード（Edy、WAON等）の導入
(利便性は維持しつつコスト削減が可能である)

3. わかりやすい情報提供による利用促進

Web等における経路探索機能等の充実及びホスピタリティ向上

現行のWeb上経路検索機能（バスネット）は非常に使いづらく、運用に適しているとは言いづらいものとなっています。アプリ化する等「バス利用促進」

という視点が必要だと考えます。

またバスの観光利用促進にむけては、統合時刻表やバスロケーションシステムの導入も必要であります。最も大事なものは人と人のコミュニケーションによるホスピタリティの向上であると考えています。

私たちのバス利用の実態調査では、バス利用者に対する交通拠点でのバス利用案内やバス運転手による顧客対応など、観光客が感動するおもてなしができていないとは、必ずしも言えない状況であります。また、バス運転手は男性が多く、気軽に声をかけにくい雰囲気も感じています。

昨今、政府では女性が働きやすい環境づくりに力を入れているとともに、鳥取県は最も男女平等参画が進んでいる都道府県の一つであると認識しています。

今後、地域の公共交通の担い手不足が大きな課題になる前に、職業訓練として女性乗務員の二種免許取得や語学学習等の支援の実施（雇用創出を目的とした免許取得等職業訓練の支援）を提言させていただきます。

4. 公共交通利用の動機づけ

公共交通イベントの開催に伴うイベント連携

「鳥取県西部地域公共交通網形成計画」では、事業として公共交通に関する情報公開のためのイベント開催が立案されています。

私たちも実態調査に伴いバス乗車を行った際の感想として、地元のバス路線やバス利用の方法について、正確な情報を持ち合わせていないことに気づき、市民へのバス利用に対する情報提供の重要性を感じています。

私たちの活動として、よなごマルシェ等のイベントを開催しているとともに、商業店舗の経営を行っている多数の青年部会員がいることから、御協議会において公共交通イベントを開催する際に、私たちが開催するイベントとの連携を提言させていただきます。

【例】

- ・よなごマルシェにおける開催時間の調整、公共交通利用特典の配布
- ・米子市環境フェスタ等行政主幹事業における公共交通との連携

5. 持続可能な仕組みによる公共交通の維持・存続

鳥取県西部地域公共交通網の形成にむけた一体的な協議の場づくりにおける青年経済団体の参画

「鳥取県西部地域公共交通網形成計画」では、一体的な協議の場づくりにおいて、経済団体をはじめとする多様な団体等との場について検討すると計画されています。

私たちは早くから地域の公共交通の課題と向き合い、調査・研究してきました。一体的な協議の場づくりに対し、米子商工会議所青年部の参画を提言させていただきます。

おわりに

地方自治体が生き残りをかける中、今後どういうまちにしたいのかという「まちづくりデザイン」に基づいた公共交通網の形成が最も重要だと考えます。今、私たちのまちは大きな転換点にあります。

米子駅南北一体化、バス交通のハブ化、バスターミナルの充実、タクシーを使った公共交通網の充実（UD タクシー導入）、そして、新幹線実現等々すべての決断がこのまちの将来にかかってくると考えます。

今後どういうまちにしたいのか、どういふまちにすべきなのか。

私たち米子商工会議所青年部はこれからも次代を担うという自覚をもって取り組んでいきます。

以 上